

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

つくば市 解答と解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	つくば市のイメージキャラクターである「フックン船長」は、2014年(平成26年)2月に、筑波研究学園都市建設の閣議了解50周年を記念して誕生しました。「科学(ロボット・宇宙飛行士)と自然(フクロウ)」をモチーフとしています。	2
2	つくば市の木に制定されている木は、ケヤキです。ケヤキは、市内の随所で見られ、広く市民に親しまれている木です。大きくて力強く、無限の発展を秘めている、つくば市にふさわしい木です。	4
3	ホシザキユキノシタはユキノシタ科ユキノシタ属の植物です。多年生植物で、ユキノシタの変種または品種とされています。筑波山で発見され、筑波山のみで生育する固有種です。このためつくば市の花に選ばれ、同市の天然記念物となっています。	2
4	つくば市の鳥に制定されている鳥は、フクロウです。フクロウは、農村・人里環境を代表する鳥で森の哲学者ともいわれています。知恵と技術の象徴であり、学園都市を擁(よう)するつくば市にふさわしい鳥です。	1
5	宝篋(ほうきょう)山は、筑波山の南方に位置する標高461メートルの山です。年間約10万人が訪れる観光スポットになっています。これまで、国土地理院発行の2万5千分の1地形図及び地理院地図(電子国土web)において表記されていなかったことから、筑波山地域ジオパーク推進協議会による署名活動を経て、宝篋山を管理するつくば市と土浦市両首長名で地名表記申請を行いました。	3
6	つくば市民の日は、1987年(昭和62年)11月30日のつくば市誕生を記念して定めています。市民の日に合わせて市の施設の無料開放などを行っています。	4
7	御座替祭(おざがわりさい)は、4月と11月の1日に行われる筑波山神社の中でも重要な神事で、春には御山の神が里に下り、農作を見守る。秋には再び御山に帰る。この時に筑波山神社奥の院(山宮)と、麓(ふもと)にあった六所(ろくしょ)神社(里宮)との間で御座を移したことから御座替祭(おざがわりさい)と呼ばれるようになっています。	2
8	日本庭園の美しさを味わえる回遊式の園であり、滝や鯉の群れなす池もある松見公園の高さ45メートルの展望塔は、その形状から通称「せんぬき」と呼ばれています。	3
9	つくば市の物産の中でも特に優れた物産品として市が認定した製品「つくばコレクション」は、販売促進を通して地域経済の活性化や市のイメージアップにつなげることを目的としています。2019年(令和元年)6月現在、27品目が認定されています。	2
10	市内9か所の工業団地には、研究開発や物づくりなど特色ある企業が集積しており、つくばらしい研究開発を核とした先端技術産業地域を形成しています。	3
11	茨城県は全国一のシバ(芝)の産地です。その80パーセントの生産面積をつくば市が占めます。	1
12	直径2〜3センチの小さなみかんで、「福が来る」という縁起の良い福来(ふくれ)みかんは味が濃く、酸味が強いのが特徴です。	4
13	鎌倉時代、奈良西大(さいだい)寺の忍性(にんしょう)が現在のつくば市小田を拠点に布教活動を行いました。忍性は貧しい人や病人などを救済し、後半生で鎌倉で極楽寺を開いたことでも有名です。	4
14	つくば市には常磐自動車道、首都圏中央自動車道(圏央道)が走っています。市内には4つのインターチェンジ(谷田部IC、桜土浦IC、つくば中央IC、つくば牛久IC)があります。	2
15	徳川家康(とくがわ いえやす)は筑波山を江戸城鎮護の霊山とし、3代将軍徳川家光(とくがわ いえみつ)の時代には御神橋(ごしんきょう)が寄進で造られました。御神橋は茨城県指定文化財とされており、通常は渡れません。御座替祭(4月1日・11月1日)と年越祭(2月10・11日)の時に参拝者は渡ることができます。	3
16	金栗四三(かなくり しそう)選手が学んだ東京高等師範学校は、1949年(昭和24年)東京教育大学となり、1973年(昭和48年)、筑波への移転により、筑波大学となり現在に至っています。	1
17	小田城を居城に、鎌倉時代から戦国時代まで常陸国南部で最大の勢力を誇った小田氏は、15代小田氏治(おだ うじはる)の代で小田城を失いました。しかし、小田氏治は戦いに敗れてはまた居城を奪還し復活したことから、最近では常陸の不死鳥とも言われ注目をされています。	4
18	つくば市の人口は、2019年(令和元年)5月現在、県内第2位です。人口減少社会にあっても、つくばエクスプレス沿線で子育て世代の流入が続いていることなどから順調な伸びを示しています。	2
19	2017年(平成29年)市議会9月定例会で、加藤澤男(かとう さわお)氏(体操競技でオリンピック3大会出場し日本人最多の金メダル8個を獲得)がつくば市名誉市民として承認され、つくば市名誉市民は、江崎玲於奈(えざき れおな)氏(ノーベル物理学賞受賞)、小林 誠(こばやし まこと)氏(ノーベル物理学賞受賞)に続き3人目となりました。	3
20	学園東大通は、総延長17.1キロメートルで、「研究学園都市東側を貫く道路」から名付けられました。1987年(昭和62年)に大角豆(ささぎ)交差点〜東前野(ひがしまえの)の15.8キロメートルは、日本の道百選に選ばれ、つくば市吾妻(あづま)に記念碑があります。	1
21	つくば市では、平沢官衙(ひらさわかんが)遺跡、金田官衙(こんだかんが)遺跡、小田城跡の3つが国指定史跡に指定されています。	2
22	ジオパークは、Geo=地球・大地、Park=公園を組み合わせた言葉で“大地の公園”とも言い、地質遺産を見どころとした自然公園です。筑波山地域を構成する石岡市・笠間市・つくば市・桜川市・土浦市・かすみがうら市の6市は「みんなに愛される地域づくり」を目指し、ジオパーク事業を進めています。	4
23	天狗党(てんぐとう)の乱では、筑波山で挙兵し京都に向かったが、越前(福井県)で幕府軍に降伏しました。天狗党の呼び名は水戸藩9代藩主徳川斉昭(とくがわ なりあき)が藩政改革をした時の中心に成り上がりの軽格(けいかく)武士が多く、「成り上がって天狗になっている」という意味が込められているといわれています。	1
24	つくば市は、国から経済・社会・環境の三側面における新しい価値の創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市「SDGs未来都市」として選定されています。	3
25	筑波山は「西の富士、東の筑波」と並び称され、その優美な姿は古くから多くの人々に愛され、信仰されてきました。万葉集には筑波山を詠んだ歌が25首あり、筑波山神社周辺をはじめ、筑波山エリアに全25首の筑波山万葉歌碑が建立されています。	4